

令和7年度 第3回 学校運営協議会議事録

校名	府立泉尾工業高等学校
校長名	井上 泰治

開催日時	令和7年2月18日(火) 10:00~12:00
開催場所	本校 本館 1階 校長室
出席者(委員)	寺尾 真紀(会長)・中辻 佑美(副会長)・岩崎 一哉(委員)・湯浅 芳昭(委員)・ 岩田 英樹(委員)
出席者(学校)	井上 泰治(校長)・片岡 敏哲(教頭)・宮内 修司(事務長)
傍聴者	なし
協議資料	1 学校の現状について(進路実績・生活指導課総括) 2 学校教育自己診断について結果と分析 3 令和6年度学校経営計画及び学校評価及び令和7年度学校経営計画及び学校評価(案)
備考	なし

議事等次第順
<p>校長挨拶</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校の現状について 2. 学校教育自己診断について結果と分析 3. 令和6年度「学校経営計画及び学校評価」令和7年度「学校経営計画及び学校評価」(案)について <p>閉会のことば</p>
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>1、学校の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、在籍生徒 280 名でスタートし、1 月末時点の在籍生徒数 261 名(転入学1名) ・3年生 ファッション工学科 29 名 セラミック科 16 名 工業化学科3名 機械科 20 名 電気科 19 名 計 87 名が卒業予定 卒業式 令和7年2月28日(金) ・中学3年生進路希望調査(2月上旬) 140 名募集 99 名(0.71 倍) 昨年度受検者 105 名(0.75 倍) <p>令和6年度主な取り組み・企業連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『第23回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会(ファッション甲子園2024)』優勝 34 都道府県 95 校 1,147 チーム 1,929 作品の頂点に。(大阪府の高校で初の快挙) ・メタバース空間におけるイベント「ミニ万博」への出展 メタバース空間「大阪府立バーチャル高等学校」内アバター(エモート)によるファッションショーの開催。 Cluster 社(仮想空間アプリ運営)とのコラボ。 ・万博 STEAM 教育プログラムを活用した支援授業 万博テーマ事業プロデューサー中島さち子氏が専門人材として授業(2コマ)の支援を受け、万博パビリオン(クラゲ館)において、生徒たちの探究成果をワークショップとして発表することをめざす。 (成果)本校からエントリーした 2 チームが次年度万博パビリオン(クラゲ館)に出展決定。

・(株)徳間ジャパンコミュニケーションズとの企業連携

演歌歌手浅田あつこさんのデビュー30周年記念新曲の衣装のデザインから制作までを実施。

国立文楽劇場での記念イベント及び本校文化祭・ファッションショーにてお披露目会を実施。

・タビオ奈良(株)との企業連携 コラボ商品の開発・販売

ホールガーメント実習装置(無縫製・シームレス)を用いてコラボ商品「チンアナゴのペンケース」を制作。
ノベルティーとしてペットボトルケースも制作配布。

・令和6年度学校経営計画の取り組み状況

・教員の授業改善

授業力向上チームの設置(今年度～)。

1人1台端末・電子黒板等 ICT 機器の活用促進。

オンライン授業についての校内研修及び実施。

画像生成 AI の活用について研究授業の開催。(教育新聞社から取材)

授業アンケート振り返りシートを用いた授業改善の実施。

管理職及び教員間の相互授業見学の実施。

10年経験者研修に係る公開研究授業の実施(2名)事後研究協議の開催。

・検定・資格取得の推進

ジュニアマイスターの取得者数7名(R5は7名) 機械科5名、電気科2名

・基本的な生活習慣の確立(遅刻指導)

年間1200件以下とする目標を共有し、教員全体で粘り強く指導を行っている。

2月現在 1316件 今年度3年生については過去10年間で最も少ない遅刻総数であった。年間191回(1日平均1.3回)。目標件数を上回ってしまった事について、1年生の指導回数が多かったこと、特定の生徒の生活習慣の改善ができず、回数が増加してしまった事が要因にあげられる。今年度の3学年の成功事例を踏まえ、学年と連携を深めながら次年度も指導の充実を図る。

・ICTを活用した校務の効率化(働き方改革)

運営委員会・職員会議(1月より実施)についてペーパーレスで実施。

全校ポータルサイトの連絡掲示板での情報共有が浸透してきている。

保護者への連絡や案内について Google クラウド・ホームページを活用するなどペーパーレス化推進。

欠席・遅刻等の連絡確認 Google フォーム活用(6月より実施)電話対応等の負担軽減。

・令和6年度 進路実績

87名(学校斡旋就職59名(71%)・進学希望者18名(21%)・その他10名(8%))

就職内定者数 59/59(100%) 求人数 3048件 求人倍率 52.8倍と昨年度を上回った。

・各種イベントへの参加、体験入学・学校説明会

次年度産業教育フェアの開催について各地域ごとの商業施設での開催を含め検討中

体験入学・学校説明会(4回実施) 延べ参加生徒数 174名

体験入学の参加生徒数が69名と多く、次年度は体験入学の回数増や内容について改善を図る。

2. 学校教育自己診断について結果と分析

昨年度、保護者アンケートの回答数が34件 今年度、Google フォームに加えて紙ベースでも回答をお願いした結果109件と回答数も大きく増加し、12項目で肯定率の向上が見られた。

生徒・保護者のアンケートともに「工業に関する知識が身についた」の肯定率が向上 生徒 91.8% 保護者 87.9%
(分析)専門科の実習においては少人数で班編成しており、指導が行き届いている。

生徒アンケート「生徒 1 人 1 台端末を効果的に活用されている」の肯定率が向上 R6 82.4% R5 81.7%
(分析)電子黒板や Google フォームの活用が授業の中でみられるが、その内容について改善できる余地がある。

保護者アンケート「本校のホームページをよく見る」肯定率 47.3%
(分析)ホームページ閲覧件数については増加しており、外部の方や中学生(保護者含む)閲覧数増加。
本校保護者の閲覧数を伸ばすために工夫が必要。

教職員アンケート「校長は、自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている」肯定率 93.5%
「学校運営に教職員の意見が反映されている」肯定率 79.3%
(分析)学校運営についての肯定率が昨年度から 10 ポイント以上向上。校長の教育理念が教職員に浸透し、
教職員の意見も反映されていることから風通しの良い職場環境になっている。

3. 令和6年度「学校経営計画及び学校評価」令和7年度「学校経営計画及び学校評価」(案)について

【学習指導】

生徒、保護者、教職員全体から学習指導への高い評価が得られている。生徒は工業に関する知識や技術、ICT活用、キャリア教育を肯定し、保護者からは専門教育や進路指導について信頼されている。また、生命の大切さや社会ルールの指導も評価されている。教職員は個別の進路指導や教材の精選において成果を上げており、学校全体で生徒の未来を支える体制が充実している。

○今後の課題

生徒の学習理解や家庭学習の習慣が低下しており、保護者からも授業のわかりやすさへの改善について要望がある。教職員のキャリア教育の評価も課題で、学習支援の充実や指導法の見直しが求められている。

【生活指導】

生徒は学校生活を楽しみ、ルール遵守や友人関係、家庭での会話を大切にしている。教員の生活指導やいじめ対応にも信頼があり、保護者からも高評価を得ている。家庭との連携が取れており、生徒の健全な成長を支えている。教職員間でも教育相談体制が整備され、組織的に対応できる環境が構築されている点が学校全体の強みである。

○今後の課題

生徒から学校生活の楽しさや相談環境への評価が若干低下しており、指導方法や支援体制の見直しが必要である。保護者からも教員の生徒理解や学校生活の楽しさに改善要望があり、教職員間で人権意識を高め、いじめ対応を強化する必要がある。

【学校運営】

生徒は学校行事や部活動に積極的に参加し、楽しさや主体性を感じている。保護者は学校の相談対応や教育情報の提供を高く評価し、家庭との連携も強化されている。教職員は日常的な話し合いや服務規律への意識が高く、校長の理念発信も向上。これらの取り組みにより、学校運営の安定と信頼が確立されている。

○今後の課題

生徒の部活動や学校行事への満足度が若干低下しており、活動内容の魅力向上と参加しやすい環境整備が必要である。また、満足度向上に向けた工夫も求められる。保護者では、ホームページ閲覧率の低下と情報発信の改善が課題で、満足度向上策が必要である。教職員間では、学校行事や連携評価の低下があり、意識共有と連携強化が急務。

委員からのご意見)

遅刻について年間約 1300 件となっているが、1 日平均で何件ぐらいになっているか。

→全学年で 8.5 件/日 (1 年 4.3 2 年 2.9 3 年 1.3) 次年度は 6~7 件/日を目標に指導改善に努めたい。

HP 等での魅力発信について、HP への生徒写真のアップについて許可取りはされているか。

→入学時に掲載への保護者・生徒の許可取りは行っている。その際に許可が得られなかった生徒も複数いるので、基本的には後ろ姿やモザイク等の処理、画素数を落としての掲載になってしまう。撮影する際に本人の許可を得られたものについては処理を施さず掲載している。私学では保護者アカウントでHPへ入れば写真が鮮明に見れるような工夫をされているところもあるので、他校の取り組みなどを参考に改善に取り組みたい。

高専連携として年2回大阪文化服装学院へ授業を受けに来ていただいている。その中でうまく「コミュニケーション」をとれる生徒さんは学びに対する意欲や吸収も早く、成長を感じられる。

「コミュニケーション能力」を養えるような学校環境づくりを次年度以降も期待したい。

ペーパーレス化推進で保護者にGoogleアカウントを活用してもらうために

合格者説明会や入学式、学校行事などでGoogleアカウントについての説明会を実施してはどうか。

学校広報においてメディア露出は非常に有効な手段

ファッション甲子園優勝や企業連携等でメディアに取り上げられることも多かったと思うが、SNSでも反響が大きいので機会があれば積極的に活用してもらいたい。

授業アンケート振り返りシートについて良い取り組みであり中学校でも参考にしたい

→今年度から試行的に実施しているが、提出率も非常に高く、個々の先生方の授業の振り返り・分析・ブラッシュアップに役立ててもらっている。

大阪市以外の地域にも広報してもらいたい。(中学校訪問や学校説明会・体験入学等の案内)

→ファッション工学の生徒については吹田市や堺市・岸和田市から受検する生徒も複数いている。

大阪市以外での泉尾工業の知名度が低い。学校の魅力や特色のある学科について知ってもらうためにも大阪市以外の地域へのPRについて強化していく必要がある。

ホームページについて、私学のように動画や写真が全面にでてくるような魅力あるものにできないか

→府立高校のフォーマットがあるのでその中で改善を重ねている。コストと更新のし易さ、タイムリーな情報発信を心がけており現在のような形となっている。学科ごとの紹介ページを生徒が主となって作成できないかというご意見もありましたので、次年度に向けて検討・改善をおこなう。

次回の会議日程

日時	令和7年6月上旬 予定
会場	本校 本館1階 校長室